

車椅子⇔ベッド 移乗



これは、車椅子からベッドへの移乗で、手すりを持って立てる方の移乗方法です。写真では椅子を手すり代わりにしていますが、実際はL字の柵を使用します。

- ① まず、介助者は車椅子とベッドの間に、ご利用者の後方に立ちます。ご利用者には手すり（ここでは椅子）を持って頂きます。



- ② 立ち上がりの3原則を使用し、ご利用者のお尻を支えるようにして、前かがみに立って頂きます。



- ③ 必要であれば、お尻を支えながら、ベッドにお尻を誘導します。



- ④ ベッドに座って頂きます。



逆にベッドから車椅子に移るバージョンです。原理は全く同じです。

- ① ベッドに座り手すりを持って頂きます。



- ② 介助者はベッドと車椅子の間に立ち、ご利用者お尻を支え、立ち上がり 3 原則で立って頂きます。



- ③ 車椅子へお尻を誘導して、座って頂きます。

ポイントは、ある程度立てる方は安易に全介助にせず、ご自分の力を使って頂く事です！ですから、必ず介助者は後ろに立ち、手すりを持って立って頂く事を支えるのです。生活の中のちょっとしたリハビリ、生活リハビリです。